

11/8 (日) 第2回鳥羽田ふれあいまつり

鳥羽田田園都市センターにおいて、三世代間の交流を図り地域活性化に繋げようと「第2回鳥羽田ふれあいまつり」が開催されました。

あいにくの雨にも関わらず、昨年行われた1回目を上回る約230名が集まりました。会場では地元で採れた野菜をふんだんに使用したけんちん汁などの「おもてなし料理」が振る舞われたほか、カローリング（カーリングを床で行う競技）大会や輪投げ大会を開催。さらに地域の子どもたちによる青葉小学校校歌や、高年者クラブによる「鳥羽田音頭」も披露され、大人も子どもも楽しめるお祭りとなりました。

この事業は、茨城町ふるさと元気づくり推進事業を活用しており、同事業アドバイザーの常磐大学准教授砂金ゼミのゼミ生達もお祭りのお手伝いに駆けつけました。

鳥羽田区の黒崎区長は、「三世代が集まり楽しいお祭りになってよかった。このお祭りを継続していけるよう、これからも頑張っていきたい。」とお祭りの成功を喜んでいました。



11/14 (土) 四つ葉ふるさと交流会開催

統合小学校青葉小学校の母体となった旧小学校単位（川根・上野合・駒場・沼前）で「四つ葉ふるさと交流会」が開催されました。これは、小学校統合で学校の規模が大きくなったことにより、希薄になりつつある児童と地域の絆を復活させようと企画されたものです。

四つの会場では、いずれも昔遊びの場や模擬店が設けられるなど、児童と保護者、地域の方が一緒に楽しめる内容となっていました。

このイベントの主催者の一人である和家さん（青葉小学校PTA会長）は、「大勢の方に集まってもらえて嬉しい。回を重ねて、地域のイベントとして定着してくれれば嬉しい。」と地域の発展と地域コミュニティの深化に期待を寄せました。



伝統芸の披露（旧上野合小学校）



校歌披露（旧川根小学校）

11/2 (月) 高齢者の健康維持に！
シルバーリハビリ体操3級指導士養成講座

高齢者の介護予防を推進するために考案された、「いつでも」「どこでも」「一人でも」できる「シルバーリハビリ体操」。この体操を広く普及させるための指導士の養成講座が実施され、新たに17名の指導士が誕生しました。

ご主人と楽しい老後を送るために講座に参加した郡司さんは、「老後をみんなで楽しく送るため、この体操を広めていきたい。」と話してくれました。

茨城町のシルバーリハビリ体操指導士会には、1級～3級まで77名が登録されており、ゆうゆう館や各地の公民館などで茨城町の健康寿命を延ばそうと日々活躍されています。

今回の受講者が指導士になることにより、活動のさらなる広がりが期待されています。



11/6 (金) 地域ぐるみで防災強化！ 広浦小学校防災訓練



子どもたちだけでなく、防災訓練に保護者や地域の方も一緒に参加することで、地域全体の防災力を強化しようとする取り組みが広浦小学校で行われました。

地震発生を告げるアナウンスが校内に流れると、児童たちは机の下に隠れた後速やかに避難所である体育館に移動。その後消防署員の指導の下、心臓マッサージやAEDの使い方を学びました。この訓練には保護者や地域の方も参加し、児童と一緒に各種訓練に臨みました。

広浦小学校PTA会長の桃井さんは、「統合により広浦小学校は廃校となるが、ここが地域における防災の拠点であることには変わらない。万一に備えて地域全体で防災力を強化することが大切だ。」と訓練の意義を話してくれました。

11/7 (土) 石崎小学校でしらさぎ祭り開催
スローガンは「みんなニコニコ 地域に感謝のしらさぎ祭り」

来年3月に小学校統合により廃校となる石崎小学校で、毎年恒例の「しらさぎまつり」が開催されました。

このお祭りには保護者や地域の方が大勢招かれており、児童はスローガンの「地域に感謝」の言葉通り様々な催しで来場者に感謝を伝えました。

会場となったグラウンドには、児童が作成したお神輿が練り歩きました。さらに児童が考案し運営する出店が立ち並ぶなど、お祭り気分を盛り上げました。

